

区民に対する ユニバーサルデザインの 普及啓発について

**令和5年度第2回
板橋区ユニバーサルデザイン推進協議会**

日時 | 令和6年1月16日 (火)

午後2時00分～午後3時30分

会場 | 板橋区立グリーンホール 1階ホール

(1) 赤塚図書館における 出前講座

板橋区ユニバーサルデザイン推進計画2025実施計画2025 におけるユニバーサルデザイン出前講座の実施の位置づけ

指針 1

地域で支えあう「ひと」の「もてなしの心」を育みます

推進事業 事業番号10
ユニバーサルデザイン出前講座の実施

区民等を対象に、区の出前講座を活用して、学習会の場に区職員を講師として派遣し、ユニバーサルデザインを学び、生活の中で実践できるような機会を提供します。

実施概要

○実施日

令和5年6月29日

○場所

赤塚図書館 視聴覚室

○テーマ

ユニバーサルデザイン入門講座

「ともに快適に過ごす合言葉－UDの実践－」

実施概要②

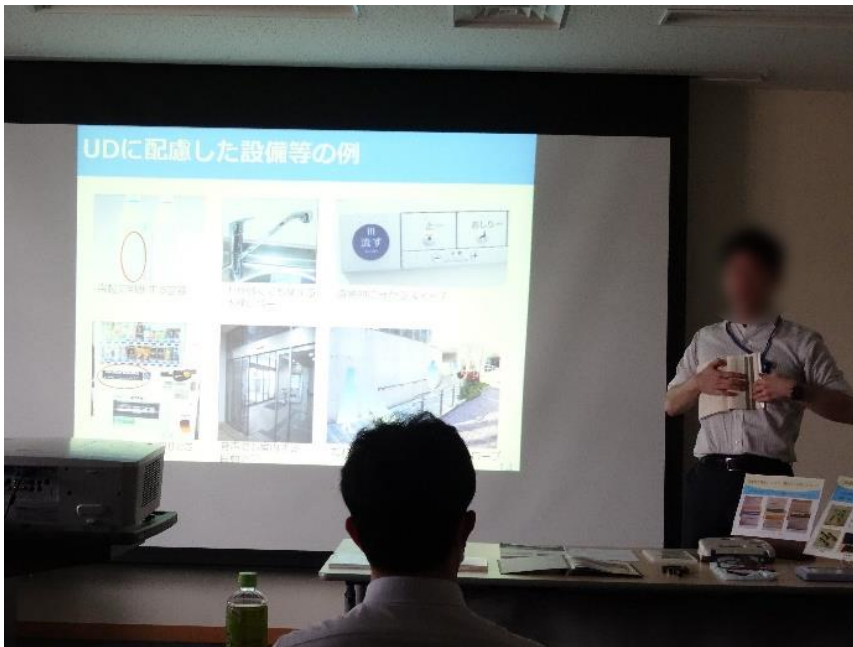
○講座の目的

- 1 ユニバーサルデザインを知る
- 2 さまざまな人の困りごとや対応方法を知る

○プログラム

- 1 UDを知ろう
- 2 対応方法を知ろう
 - (1) 心のバリアフリーとは
 - (2) サポートの基本
 - (3) 補助犬
 - (4) 色の使い方
- 3 伝達ゲーム

出前講座の様子

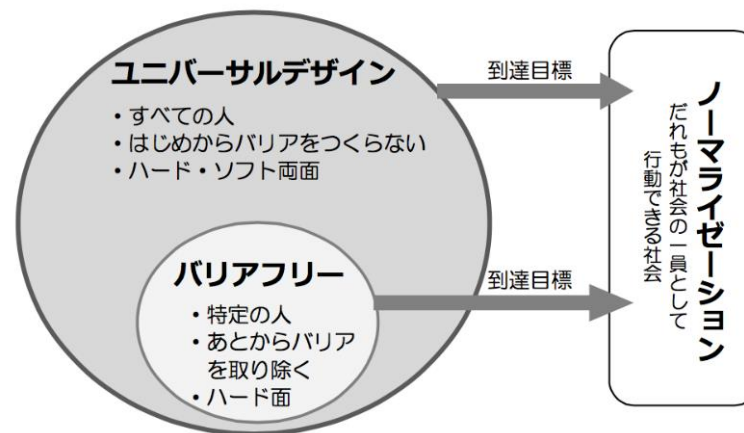


1 UDを知ろう バリアフリーとの違い

※講座内容の一部抜粋

【ユニバーサルデザイン】

- すべての人
- はじめからバリアはつukらない
- ハードもソフトも
- 絶えず改善



	バリアフリー	ユニバーサルデザイン
対象者	特定の人 (障がい者・高齢者等)	すべての人 (年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず)
考え方	あとから バリア(障壁)を取り除く	はじめから バリア(障壁)をつukらない
主な対象	ハード面	ハード・ソフト両面
取り組みの前提	バリア(障壁)は すでに存在している	バリア(障壁)がない ことがあたりまえ
取り組みの姿勢	特定の人にとって 利用上のバリア(障壁)の 数を減らしていく	すべての人にとって、 さらに利用上の質が高まるように 絶えず改善に取り組む

1 UDを知ろう

UDに配慮した設備等の例

※講座内容の一部抜粋



突起で判断する容器



力が弱くても使える
水栓レバー



直感的に分かるスイッチ



車いすのまま利用できる
ボタン



音声でも案内する
自動ドア



だれでも使いやすい緩やかなスロープ

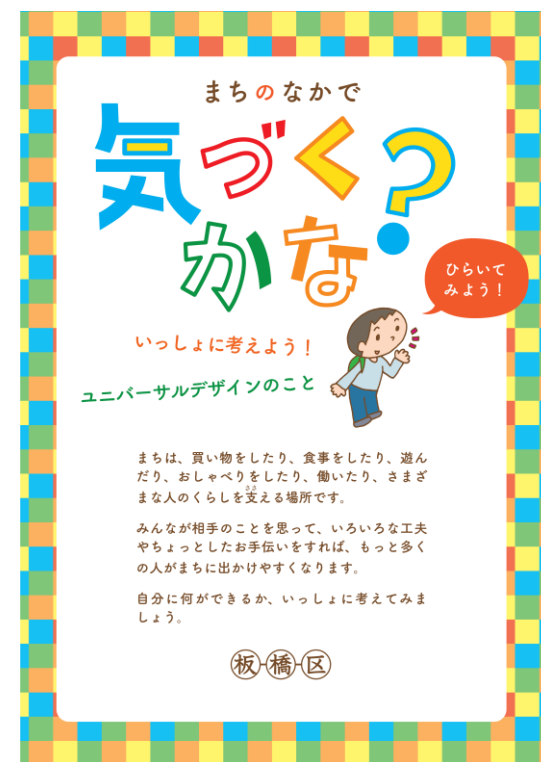
2 対応方法を知ろう (1) 心のバリアフリー

※講座内容の一部抜粋

パンフレットを開いてみて

- ①困っている人 10人
- ②何に困っているか
- ③どのようにしたら良いか

考えてみましょう(5分)



2 対応方法を知ろう (2) サポートの基本

※講座内容の一部抜粋

こんなことはありませんか。



押さなければ
いけない？



誘導しなければ
いけない？



「何かお手伝いしましょうか」

と声をかけてください。

2 対応方法を知ろう

(3) 補助犬

※講座内容の一部抜粋

■ 補助犬の種類

盲導犬、介助犬、聴導犬の3種類

■ 身体障害者補助犬の受け入れ

- ・ 地方公共団体等が管理する施設は、身体障害者補助犬の同伴を拒んではならない

※身体障害者補助犬法第7条第1項

- ・ 交通機関や民間施設（デパート、スーパー、ホテル）なども対象

■ 知ってほしい補助犬のこと

- ・ 清潔である
- ・ 排泄訓練がされている
- ・ おとなしく待機する
- ・ 集中力がある

■ ほじょ犬マーク



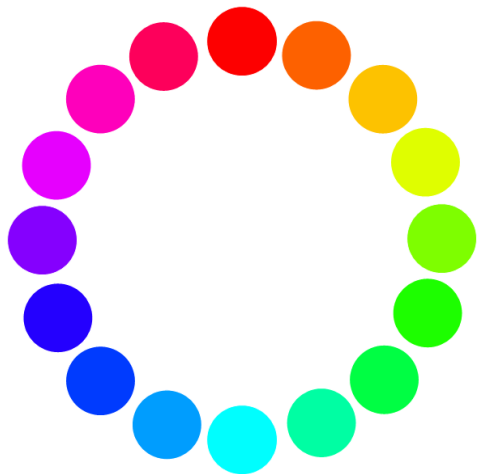
2 対応方法を知ろう

(4) 色の使い方

※講座内容の一部抜粋

色が伝わらない

「赤い用紙に書いて」
「緑の看板が目印です」
と言われても認識が困難。



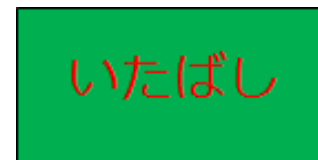
健全な場合の見え方



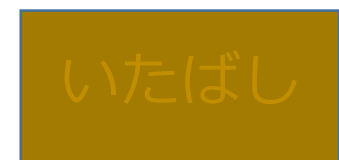
色覚に障がいのある方の見え方

組み合わせると見えない

「緑と茶」「赤と茶」
「赤と緑」「紫と青」
などが同じに見える。



健全な場合の
見え方

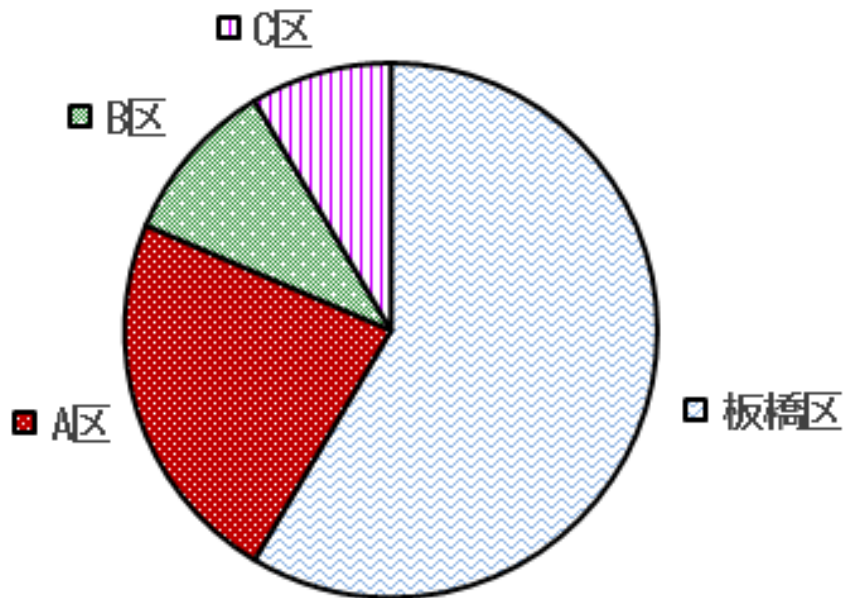


色覚障がいのある方の見え方

2 対応方法を知ろう (4) 色の使い方

※講座内容の一部抜粋

網掛けの使用など



装飾など

太さを変える

注意事項

下線を引く

注意事項

白抜き

注意事項

背景に着色

注意事項

3 伝達ゲーム

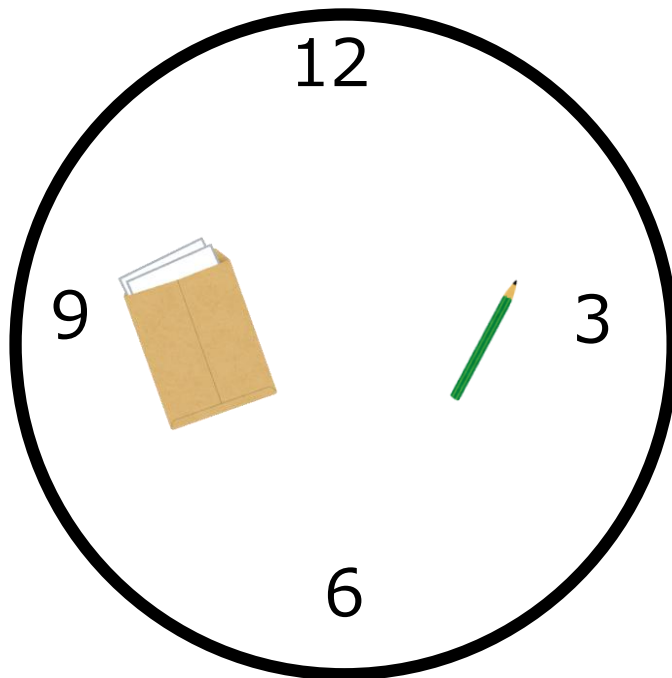
※講座内容の一部抜粋

- ①お隣の方と2人1組に
- ②左側の方が目を閉じてください
- ③もうお一人に紙を配ります
- ④その紙を説明してください（2分）



クロックポジション

位置関係を**時計の文字盤に見立てて説明**する方法。
食器やお弁当箱の中にある食材の配置、道案内する際の方向を説明するときに見える。



例)

- ・ 3時の方向に鉛筆があります
- ・ 9時の方向に封筒に入った書類があります

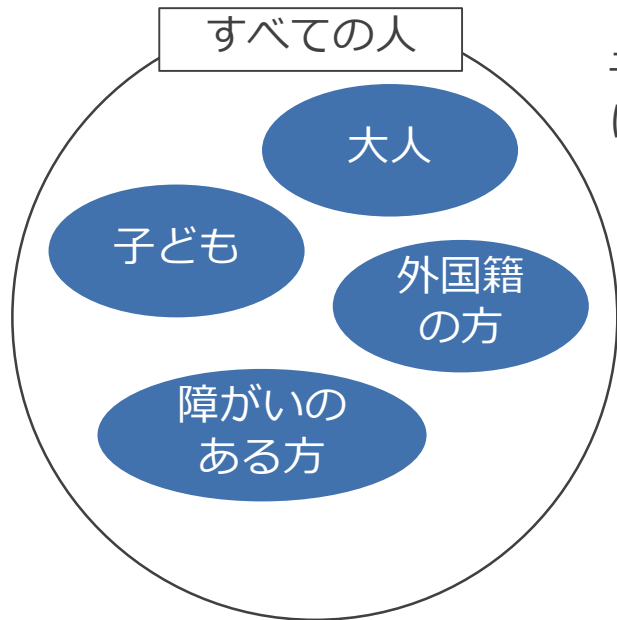
受講された方の感想

- デザインというと、いわゆるデザインを想像してしまうが、考え方なのだと思った。
- 相手を思いやったつもりでも、それが「過剰」な場合は困ってしまうことがある。相手の意思を尊重することが大切だと改めて考えることができた。
- クロックポジション、勉強になった。
- 自分が困ってみて初めてわかると思った（体験しないとわからない）。
- 視覚障がいの方への伝え方のヒントをもらった。
- 小学校など、小さい頃からみんなが学べば良いと思った。

(2) 子どもに対する普及啓発

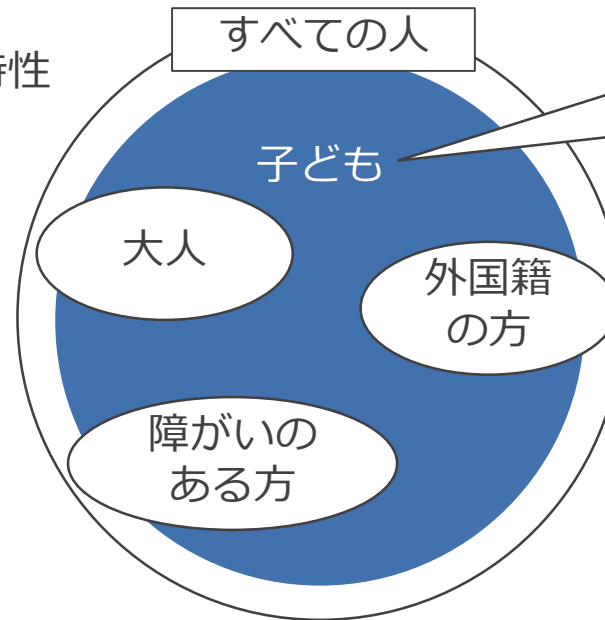
子どもへの普及啓発の必要性

ユニバーサルデザインの対象 ▶ 「すべての人」



さまざまな人がいる

子どもの特性
に着目



- だれもが経験
- 発達過程で体力、知識等が十分ではない



子ども目線の
ユニバーサルデザイン

▷ 多様な人への
ユニバーサルデザイン
につながる

子どもの目線に立ち、
子どもが過ごしやすい安心・安全な環境を整えることは、
すべての人にとってやさしい環境である。

**子どもがくらしやすいまちは、
すべての人がくらしやすいまち**

板橋区ユニバーサルデザイン推進計画2025実施計画2025 における子どもに対する普及啓発の位置づけ

指針 1

地域で支えあう「ひと」の「もてなしの心」を育みます

重点事業 事業番号03

子どもに対するユニバーサルデザインの普及啓発

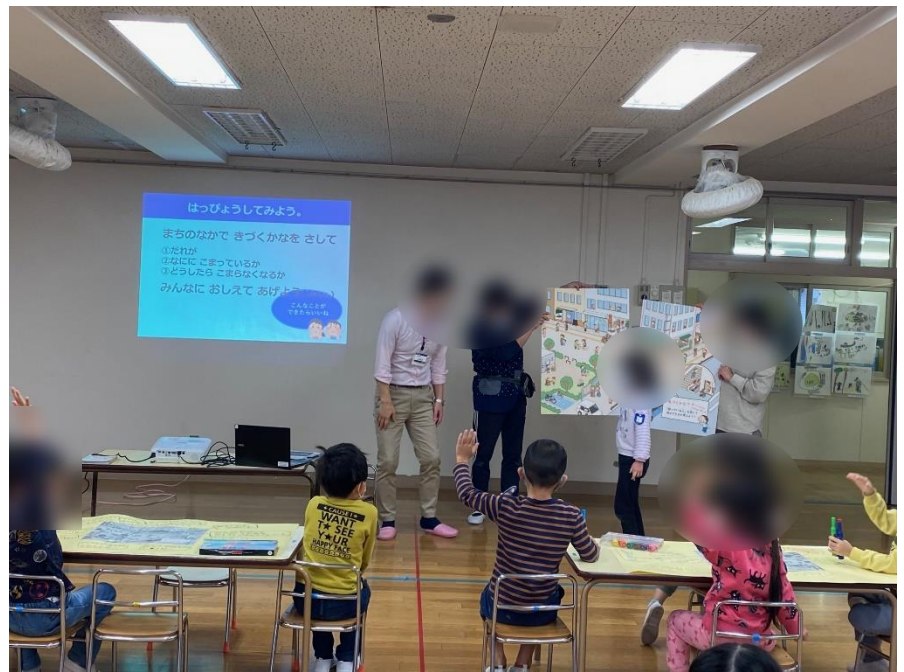
小学校などの子どもを対象に、ユニバーサルデザイン啓発パンフレット「まちのなかで気づくかな？」を用いた普及啓発活動を行います。

重点事業 事業番号07

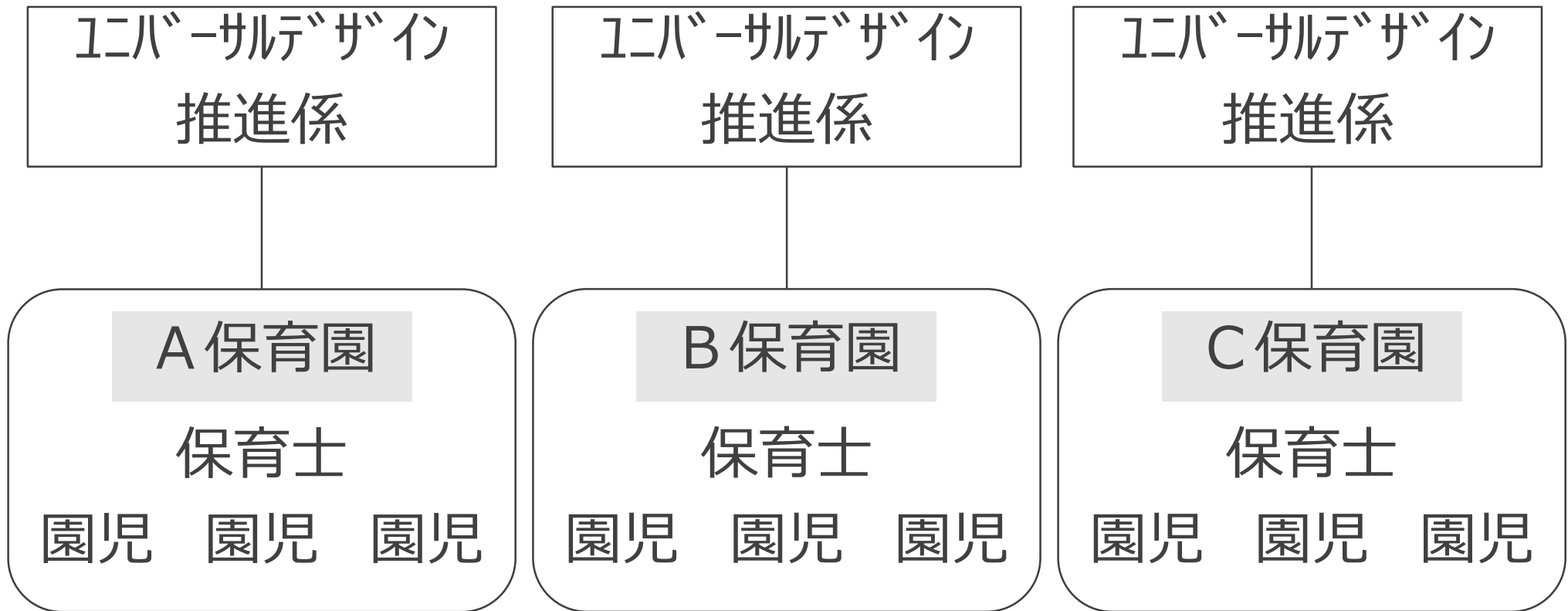
ユニバーサルデザイン研修の実施

区職員に対し、接遇や特性の理解などソフト面に加え、設計や管理運営などハード面の視点を取り入れたユニバーサルデザイン研修を行い、意識向上を図ります。

保育園児へのユニバーサルデザイン啓発 UDスクールプレ（令和4年度）

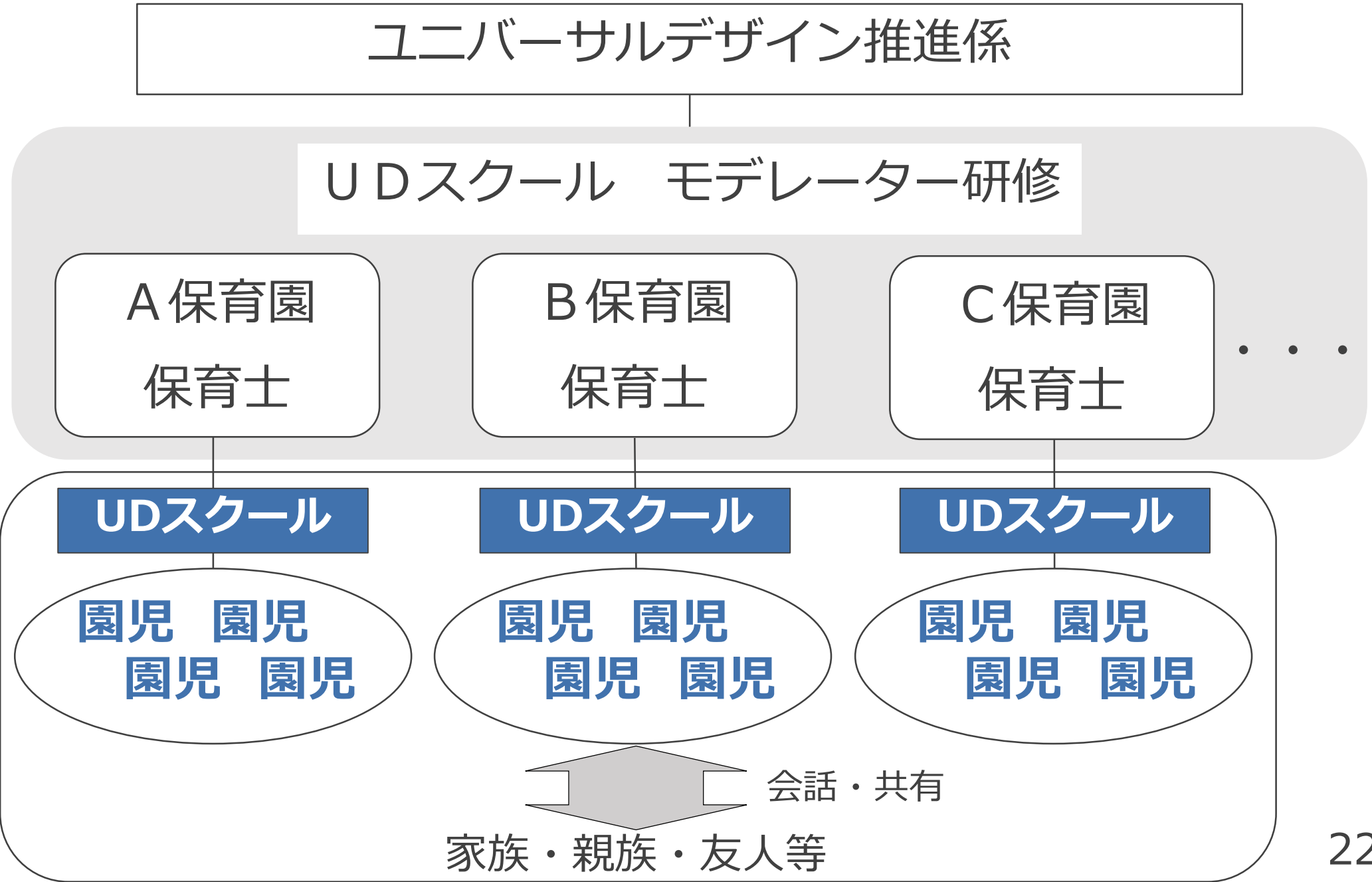


保育園児へのユニバーサルデザイン啓発 UDスクールプレ（令和4年度）



効果効率的な保育園児への普及啓発のしくみが必要

UDスクール モデレーター研修（令和5年度）



UDスクール モデレーター研修（令和5年度）



保育園によるUDスクールの実施①（令和5年度）



保育園によるUDスクールの実施②（令和5年度）



保育園によるUDスクールの実施③（令和5年度）



保育園によるUDスクールの実施④（令和5年度）

